

三法印（諸行無常、諸法無我、一切皆苦）について

令和五年十月二十七日

【三法印】

諸行無常…全ては何一つとして恒常なものも存在しない。変化する事なく永遠に存在するものは何もない。その理由は全てのものはたぐさんの縁に結ばれて存在しているから。全ては様々な縁によってがんじがらめにされている。

諸法無我…全ての物は自分のものではない。自分のものと呼べるものなど何一つない。物も他人も自分の体でさえも自分の思い通りにできないから。

一切皆苦…全ての物は思い通りにならない。仏教でいう「苦」は思い通りにならないという意味。

四苦…生老病死

八苦…愛別離苦↓愛する人とはなれなくてはならない苦しみ

怨憎会苦↓嫌いな人と会わなくてはならない苦しみ

求不得苦↓求める事が得られない苦しみ

五蘊盛苦↓肉体と精神が生み出すあらゆる苦しみ

涅槃寂静

【まとめ】

印象として全体的に暗くてネガティブな印象を持った方もいらっしゃるかもしれませんが。この教えの良い考え方の一例として、あくまでも前向きに一生懸命に生きて、うまくいかない事や思い通りにならない事があった時に「自分はダメだ、もう生きていけない。」と失望してしまうのではなく、そういう時に「でもお釈迦様が自分の思い通りのできる物なんて何もない、世の中思い通りにならないのが当たり前なんだよな。」と強く前向きに生きる為の活力になるように考えて頂ければ良いのではないかと私は思います。